

横浜市現市庁舎街区等活用事業実施方針【素案】に関する市民意見募集結果

1. 市民意見募集の実施概要

○募集期間：平成 28 年 11 月 21 日（月）から平成 28 年 12 月 21 日（水）まで

○素案配布場所：

- ・都市整備局都心再生課（市庁舎 6 階）
- ・市民情報センター（市庁舎 1 階）
- ・各区役所広報相談係

2. 実施結果

○提出数：8 通

○提出された意見数：29 件

3. 提出されたご意見

ご意見	横浜市の考え方
現市庁舎は、今後とも横浜の歴史・文化を象徴すべき存在であるべきため、横浜発祥の地に由来するかけがえのない歴史的資産等を集約する「横浜もののはじめ館」や、「ブリキの博物館」、「ミニチュアワンダーランド」など世代を超えた幅広い人に「観る」「参加する」「体験する」する施設整備をしていただきたい。	提案評価にあたっては、関内・関外地区が開港以来の歴史・文化を伝える特色ある地区であることを踏まえ、横浜らしい街並み景観形成に貢献する提案についても高く評価する方針としました。
横浜市立国際大学を設立し、世界の若者を横浜に留学させ人材を育成すべき。	「国際的な産学連携」を土地活用の基本的な考え方のテーマの 1 つとして定め、特色ある大学等の立地について、今後の提案を求めています。
高齢者の為の生涯学習を目的とした横浜市立シニア大学を創立されたい。	
市民が幸せに暮らせる場所、シニアが楽しめる場所も必要である。	関内・関外地区は、横浜公園や大通り公園等、緑豊かな空間が形成されています。 また、開港以来の歴史・文化の特色ある地区として、様々な方々に楽しんでいただけるまちづくりを目指します。
現市庁舎を公共の美術館としていただきたい。現市庁舎は横浜の文化遺産	土地活用の基本的な考え方である、「観光・集客」のテーマに基づき、新たな

<p>であり美術館として大切に保存していくべき。安易な賃貸収益より文化芸術都市の公共性を優先していただきたい。</p>	<p>魅力をつくりだす文化施設等の提案も求めてまいります。</p>
<p>各国の自国物産の販売促進のため、各国と国と地方行政が三位一体となり、各国物産の販売拠点を横浜に集結する。伊勢佐木の街も開港当時を彷彿させる風情ある商店街に変身させる。</p>	<p>「国際的な産学連携」を土地活用の基本的な考え方のテーマの1つとして、国際都市横浜にふさわしい活動を誘導していきます。</p> <p>また、伊勢佐木町等の周辺地域とも連携を図りながらまちづくりを進めてまいります。</p>
<p>介護、保育等で使うべき。</p>	<p>土地活用の基本的な考え方である、「国際的な産学連携」「観光・集客」のテーマに基づき、これらに関連性の高い提案も評価する方針とし、公募に向けた準備を進めてまいります。</p>
<p>外国人が日本への治療ツアー（観光）に来る病院が良い。</p>	<p>「観光・集客」を土地活用の基本的な考え方のテーマの1つとして定め、多様な観光・来街者の誘導によるにぎわいを創出します。</p>
<p>通常のショッピングモール街にしては魅力がなく、横浜ならではの商業活動を目指すべき。</p>	<p>関内・関外地区は、開港以来の歴史・文化を伝える地区として、横浜らしさを大切にしたまちづくりを進めます。</p>
<p>市庁舎移転後の建物の再活用はその土地の魅力を活かした運営をするホテルが良い。</p>	<p>「観光・集客」を土地活用の基本的な考え方のテーマの1つとして定めてまちづくりを進めていきます。</p>
<p>ボールパーク構想の1つとして計画を立てた方が面白くなる。</p>	<p>横浜スタジアム等の周辺地域や都心臨海部の動きと連携を図りつつ、観光・集客や回遊性の強化を目指したまちづくりを進めてまいります。</p>
<p>関内には往時を追懐する歴史的建造物があり、昭和初期までの古色蒼然としたアンティークな街並み復元が最もよく似合う。伊勢佐木町が横浜錦絵に描かれた維新前後の商館の街並みになったら素晴らしい。</p>	<p>提案評価にあたっては、関内・関外地区が歴史・文化を伝える特色ある地区であることを踏まえ、横浜らしい街並み・景観形成に貢献する提案についても高く評価する方針としています。</p> <p>また、伊勢佐木町等の周辺地域とも連携を図りながらまちづくりを進めてまいります。</p>
<p>教育文化センター跡地は容積緩和して商+住+業務+公益を1つのビルに入れたらどうか。</p>	<p>土地活用の基本的な考え方である、「国際的な産学連携」「観光・集客」のテーマに関連性の高い提案を評価する方針とし、公募に向けた準備を進めてまいります。</p>
<p>時代の流れを見据え、むやみに開発をするのではなく何もしないという方法も考えられる。</p>	<p>関内・関外地区の活性化に向けて、土地活用の基本的な考え方である、「国際的な産学連携」「観光・集客」をテーマに、地区の賑わいと活性化の核づくりを</p>

	行います。
人口減少を見据え、焼畑的な再開発にならないようにしてほしい。	<p>関内・関外地区の活性化に向けて、土地活用の基本的な考え方である、「国際的な産学連携」「観光・集客」をテーマに、地区の賑わいと活性化の核づくりを行います。</p> <p>また、横浜らしい街並み景観の形成を大切にしまちづくりを進めます。</p>
周辺の観光エリアとの相乗効果の発揮など、回遊性の強化によって横浜観光の魅力を拡大して欲しい。	<p>「観光・集客」を土地活用の基本的な考え方のテーマの1つとして定め、都心臨海部の動きとも連携しつつ、地域の魅力向上と交通結節点機能の強化により、集客と回遊性の強化に努め、関内・関外地区の賑わいを創出する方針としています。</p>
京都のように活性化させ、移転したあとも存続できる町にしてほしい。	<p>民間事業を基本に、エリアマネジメントや防災など、持続性のあるまちづくりを進めます。</p>
教育文化センター跡地は、容積率を緩和して売却益を出し、住宅への転用を認めた方が良い。	<p>教育文化センター跡地活用については、民間の活力を引き出しながら周辺地域の賑わいづくりに貢献する提案を評価する方針としております。</p>
大学を立地することで規制がかかり、賑わいがなくなる。	<p>誘導する機能として、「国際的な産学連携」を基本的なテーマの1つと考えています。</p> <p>特色ある研究を行う大学等を呼び込み、これと連携した起業促進を行うことで、新たな産業の誘導・周辺の民間ビルへの波及効果を生み出しすことで、関内・関外地区の活性化を目指してまいります。</p>
老朽化施設の集約等長期的な視点も必要	<p>民間事業を基本に、エリアマネジメントや防災など持続性のあるまちづくりを進めています。</p>
市庁舎周辺は緑がほとんどないので、行政として緑を取り入れた方が良い。	<p>関内・関外地区の緑豊かな空間を継承しつつ、生物多様性にも配慮した風格ある空間の保全・創出を進める方針とし、まちづくりを進めてまいります。</p>
既存の大学の機能拡大で対応が可能なものは整合する。	<p>誘導する機能として、「国際的な産学連携」を基本的なテーマの1つと考えています。</p> <p>特色ある研究を行う大学等を呼び込み、これと連携した起業促進を行うことで、新たな産業の誘導を行い、周辺の民間ビルへの波及効果を生み出しすことで、関内・関外地区の活性化を目指してまいります。</p>

<p>各区レベルの都市計画（マスタープラン）と整合する各機能の立地、誘導を行う。</p>	<p>より良いまちづくりに向けて、都市計画等の見直しを検討していきます。</p>
<p>素案には、横浜市全体の政策、区を横断する計画、各区プランとの連携の記述が不足している。</p>	<p>実施方針において、関内・関外地区の概要の項を設け、関連施策を掲載しました。</p>
<p>素案には、財源の記述が不足している。</p>	<p>具体的な財源については、今後、公募要項の策定にあたり検討してまいります。</p>
<p>素案には、抽象的な内容ばかりで、具体性がない。具体的なベースを作り計画を進めるべき。</p>	<p>具体的な機能等については、公募要項の策定までに検討していきます。</p>
<p>訳の分からない街づくり、創造系、地域貢献などというものには絶対反対。そういったもので活性化になった成功例を見たり聞いたりしたことがない。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございました。今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>机上の空論が多すぎる。他地区のまちづくりもうまくいってない。一部の人間の独占状態になっている。</p>	
<p>関東全体でオリンピックに参加することで、世界に横浜をアピールできる。</p>	